

天満大池

(てんまおおいけ)



675年に造成された兵庫県最古のため池



親水護岸では多くの人が水とふれあう。



天満神社秋祭りの様子

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加古郡稲美町

□ため池の特徴

天満大池は、兵庫県下で最も古いため池といわれており、古文書には、原形となった岡大池(蛸草大池)は、白鳳3年(675年)に造られたとの記録があります。

現在でも稲美町南西部200haの水田を潤しており、満水面積34.6万m²は県下第2位の広さです。

池の東側には約2.4haの天満大池公園があり、散策・バーベキューなど地域の憩いの場となっています。

また、公園に隣接する休耕田では数年来、町花コスモスが栽培され、名所となっています。

毎年10月には、池に隣接する天満神社の祭りが行われ、「十六人方」と呼ばれる担ぎ手が五穀豊穡を祝い、池にみこしを投げ入れる神事が行われることで有名です。

大池は、万葉の歌でよまれた絶滅危惧種アサザの自生地でもあり、天満大池協議会、アサザを育む会を中心に地元や有志による保全活動が続けられています。

関連情報

インターネット検索エンジンにて「天満大池」と検索